I-O DATA

DVR-ABシリーズ

DVD±R/RW/RAM セットアップガイド

B-MANU200264-01

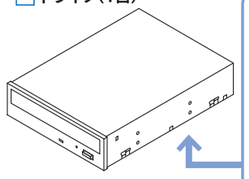
本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。

※図は実際とは多少異なる場合があります。

1 内容物を確認しよう

□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ(1台)



■シリアル番号(S/N)をメモしてください

ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。

例)



●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/
弊社ホームページよりソフトウェアをダウンロードする際にも必要な場合があります。
http://www.iodata.jp/lib/

※本製品底面に貼り付けてあります。

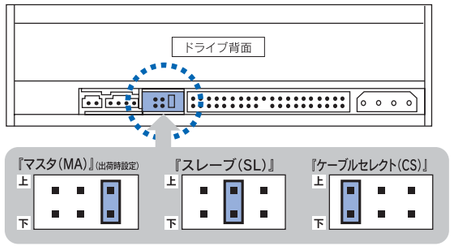
□ 取り付けネジ(4本)
□ DVD Pro ツールズコレクション(CD-ROM:1枚)
□ はじめにお読みください(1枚)
□ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)
☑ DVD±R/RW/RAMセットアップガイド(本書)
□ ハードウェア保証書(製品の箱に印刷されております。)

2 スイッチを設定する

本製品を取り付ける前にドライブ背面のスイッチを設定する必要があります。

右記 IDEの基礎知識 をご覧になり、本製品背面のスイッチを『マスタ』(出荷時設定)または『スレーブ』のどちらかに設定します。ご使用環境にあった設定を行ってください。

●マスタ、スレーブについて



IDEの基礎知識

本製品を取り付ける場所を決めてから、左記の通り設定してください。

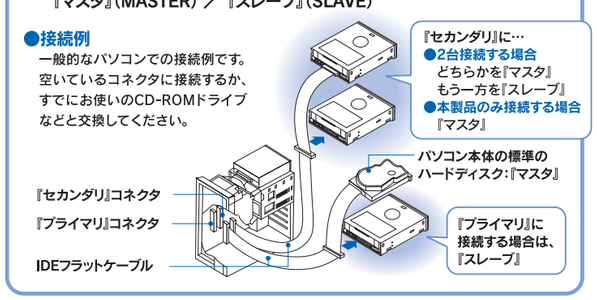
●本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。

"パソコンに接続できるIDE機器は最大4台まで"
■パソコン本体には、以下の2つのコネクタがあります。
『プライマリ』(PRIMARY) ➡ IDE1の場合があります。
『セカンダリ』(SECONDARY) ➡ IDE2の場合があります。

■『プライマリ』『セカンダリ』のそれぞれに、IDEフラットケーブル(次ページ参照)を使用して、以下の2台ずつ、計4台までのIDE機器を接続することができます。
『マスタ』(MASTER) ／『スレーブ』(SLAVE)

●接続例

一般的なパソコンでの接続例です。
空いているコネクタに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。



3 取り付ける

❶ パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

❷ パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

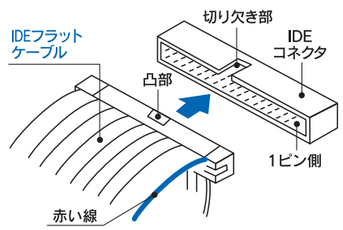
❸ 各ケーブルを接続します。

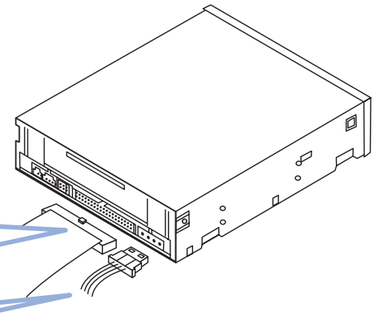
❶ IDEフラットケーブル
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクタに接続します。プライマリ(1系列目)またはセカンダリ(2系列目)を充分確認し、接続してください。

❷ 電源ケーブル
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。

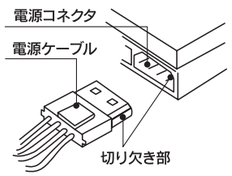
注意 ケーブルを差し込むときは、ケーブルの向きにご注意ください。
逆向きだと差し込めないようになっていますが、無理に差し込もうとすると、コネクタを破損する恐れがあります。コネクタを抜き差しする場合は、ピンが折れないようにコネクタをまっすぐにして行ってください。ピンが折れると正常に動作しません。

IDEフラットケーブル
IDEフラットケーブルのコネクタの中央にある凸部が、IDEコネクタの切り欠き部と合うように挿入します。
(中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクタの1ピンの向きを合わせてください。)





電源ケーブル
電源ケーブルのコネクタの切り欠き部と、電源コネクタの切り欠き部が合うように挿入します。



本製品で音楽CDを聞く方法

【デジタル再生する】
本製品のオンラインマニュアルの[ミニ知識]をご覧ください。

【アナログ再生する】
市販のオーディオケーブルで、本製品背面のオーディオコネクタとサウンドボードの「CD IN」コネクタまたはパソコン本体のオーディオコネクタに接続してください。(オーディオケーブルはお使いのサウンドボードやパソコンのオーディオコネクタの形状に合ったものをご使用ください。)
すでにお使いのCD-ROMドライブと本製品を併用する場合、オーディオケーブルは、すでにお使いのCD-ROMドライブか本製品のどちらか一方の接続となります。

❹ 添付の取り付けネジで本製品をとめます。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

❺ パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

4 確認する

●本製品が正常に使えるかを確認します。

パソコンを起動して、[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品を使うことができます。

追加されたアイコン

▼Windows XPの場合



▼Windows XP以外の場合



注意 Windows 2000/Meでお使いの場合
DVD-RAMドライバーのインストール後は、リムーバブルアイコンが追加されます。DVD-RAMを使用するときは、このアイコンを使います。



こんな時には…

パソコンが起動しない場合
本製品の「マスタ」「スレーブ」設定をご確認ください。

アイコンが追加されていない場合
●[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。
(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)

注意 本製品にメディアをいれたまま取り外したり移動したりしないでください。本製品やメディアを破損する可能性があります。

裏へ続く

5 メディアの出し入れ

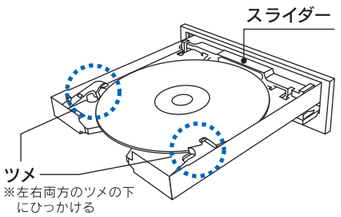
メディアの出し入れの方法を説明します。

メディアを入れる

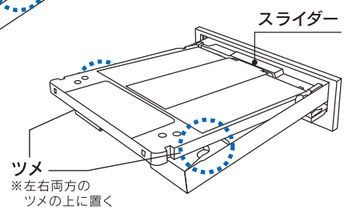
メディアのラベル面（イラスト面）を上にして、メディアでスライダーを軽く押します。カートリッジタイプ以外のメディアの場合は、左右両方のツメの下にメディアをひっかけるようにセットします。

メディアを取り出す

メディアでスライダーを軽く押し、ツメにひっかからないように取り出してください。その際、メディアのラベル面の裏側（記録面）に触れないようにしてください。



縦置き時には8cmメディアは使用できません。



6 添付ソフトウェアを使う

用途に応じてインストールしてください。

※Windows XP/2000で収録されているソフトウェアをお使いの場合には、管理者権限でログオンしてください。

「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMには以下のソフトウェアが収録されています。

社 名	ソフトウェア名	用 途
Ulead	DVD MovieWriter 4 SE with VR for I-O DATA	DVDオーサリングソフト。 既存の映像ファイルやDVカメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。 DVDプレーヤーソフト「Ulead DVD Player」も同時にインストールされます。
B.H.A	B's Recorder GOLD8 Security	セキュリティデータライティングソフト。 通常のデータCD/DVD作成に加えて、暗号化CD/DVDを作成することもできます。 ※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトウェアをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
B.H.A	B's CLiP	パケットライトソフト。 DVD+RW/-RWやCD-RWにドラッグ&ドロップ操作でデータを書き込むことができます。 ※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトウェアをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
B.H.A	DVD-RAMドライバー	DVD-RAMにデータを書き込む際にインストールしてください。
I-O DATA	EasySaver LE	データバックアップソフト。 あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。 ※本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。
Adobe	Adobe フォトショップ アルバム ミニ Photoshop Album 2.0 Mini	画像管理ソフト。 デジカメで撮った画像などを整理し、後で簡単に見付け出すことができます。
Adobe	Adobe Reader	PDF文書ファイル閲覧ソフト。 各ソフトウェアに付属しているPDF形式の文書ファイルを読む際に使用します。
I-O DATA	見張っトレイ	トレイコントロールユーティリティ。 パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。
I-O DATA	オンライン マニュアル	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困った時には」などについて説明しています。

※DirectX 9がインストールされていない環境では、B's Recorder GOLD8 Securityのインストール時に DirectX 9が自動的にインストールされます。

●インストール方法

1. Windows XP/2000でお使いの場合は、管理者権限でログオンします。
2. 「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMを本製品にセットします。
   自動でメニューが表示されます。メニューが表示されない場合は、CD-ROMの［Menu］（［Menu.exe］）を起動してください。
3. ［インストールをする］ボタンをクリックし、使用したいソフトウェアのボタンをクリックします。
4. 画面の指示にしたがって、インストールします。インストール中にそれぞれのシリアル番号/CD-Keyが**自動的に**入力されますので、あらためて入力し直す必要はありません。
   なお、B's Recorder GOLD、B's CLiPの場合は下記のシリアル番号が**自動的に**入力されます。

シリアル番号/CD-Key

●GOLD8 Security：　　●B's CLiP：

5. メニュー画面を終了するには［EXIT］ボタンをクリックします。

注意 B's Recorder GOLD、B's CLiPを使用する際のご注意

- ●省電力機能を無効（オフ）にしてください。無効（オフ）にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- ●マルチセッション・マルチボーダー（セッション単位でデータを追記することです。）記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される“使用領域”では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- ●2層DVD+Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- ●2層DVD±Rメディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。
- ●一度でも書き込みに失敗したDVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。
  また、書き込みに失敗したDVD+RW/-RW/CD-RWメディアは「B's Recorder GOLD」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
- ●いったん「B's Recorder GOLD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD」と本製品を使用してください。
  また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。
- ●一度「B's CLiP」でフォーマットしたDVD±RW、CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Erase」でいったん標準消去してから、「B's CLiP」で再フォーマットしてください。
- ●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- ●エラー回避機能のチェックを外さないでください。
  （ドライブによって機能の名称が異なります。）
  《B's Recorder GOLDの場合》
  「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、“転送速度エラー回避機能”をONにしてください。
  ※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
- ●他のCD/DVDドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意
  「B's Recorder GOLD」が対応していないCD/DVDドライブ※の場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
  ※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。
- ●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
- ●Windows 2000でお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。
- ●DVD±R/RWメディアに書き込む際、書き込み終了前に一度トレイが出し入れします。書き込み終了の画面が表示されるまではメディアを抜かないでください。手がはさまれる危険性があります。

注意 DVD MovieWriter 4 SE with VR for I-O DATA、Ulead DVD Playerを使用する際のご注意

- ●本製品のリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
- ●CPRM技術で録画されたDVDディスクを再生、編集するには、インターネットに接続し、サービスパックをダウンロードする必要があります。
  なお、ダウンロードできる回数には制限がありますので、ダウンロードしたプログラムは大切に保管してください。
  手順については本製品のオンラインマニュアルをご覧ください。

「e-割符V3」無料ダウンロードのご案内

弊社ホームページより以下のソフトウェアを無料でダウンロードしていただくことができます。

社 名	ソフトウェア名	用 途
I-O DATA	e-割符V3	データ分散化ツール。 ファイルを秘密分散法という方式で、複数に分割し、それらを別々の場所に保存することにより、ファイルの盗難の被害を防止するセキュリティソフトウェアです。（Windows XP/2000のみ対応） ※分割したファイルをDVDに保存する場合には、DVD-RAMをお使いください。

●ダウンロード方法
以下のURLにアクセスして、e-割符V3のダウンロードをおこなってください。
URL: http://www.iodata.jp/ispis
※ダウンロードの際には本製品（DVR-ABM16C）のシリアル番号（S/N）の入力が必要です。
シリアル番号（S/N）については、本紙表面［1 内容物を確認しよう］をご覧ください。

オンラインマニュアルを活用してさらにDVDを使いこなそう

●添付ソフトウェアのオンラインマニュアル

本書では、各ソフトウェアの使用方法について記述しておりません。
各ソフトウェアの使用方法については、各ソフトをインストール後オンラインマニュアルやヘルプ等をご覧ください。
（オンラインマニュアルやヘルプ等はPDF形式になっている場合があります。）

［スタート］メニュー内の以下の場所に登録されます。

●B's Recorder GOLD8 Security、B's CLiP	［B.H.A］に登録されます。
●DVD-RAMドライバー	［DVD-RAM］に登録されます。
●EasySaver LE、見張っトレイ	［I-O DATA］に登録されます。
●DVD MovieWriter 4 SE with VR for I-O DATA	［Ulead DVD MovieWriter 4 SE for I-O DATA］に登録されます。

●本製品のオンラインマニュアル

本製品のその他「基本操作」、「DVDビデオの作り方」、「困った時には」などについて説明しています。

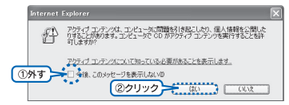
※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/support/）にてQ&Aを用意しております。本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。

添付の「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMから起動する手順

①添付の「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMをドライブに挿入します。
②［オンラインマニュアルを読む］➡［DVR-ABシリーズ］の順にボタンをクリックします。

注意 オンラインマニュアルを見る際のご注意

Windows XPにService Pack 2がインストールされた環境では、下のメッセージが表示される場合があります。
「今後、このメッセージを表示しない」のチェックを外し、［はい］ボタンをクリックします。
⇒オンラインマニュアルが正しく動きます。



R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 大豆インキを使用しています